

「無事、帰る」までが『登山』です！

	令和7年7月末	去年同期	増減
発生件数	27件	30件	-3件
遭難者数	32人	34人	-2件

年齢別遭難の態様 ※数値は暫定値です ※()内は前年同期比

年齢層	転倒・滑落	道迷い	病気・疲労	その他	合計
10歳未満	- (-1人)				- (-1人)
10歳代	2人(+2人)	4人(+3人)	1人(+1人)		7人(+6人)
20歳代		3人(±0人)		1人(+1人)	4人(+1人)
30歳代		3人(+1人)			3人(+1人)
40歳代	- (-2人)			1人(±0人)	1人(-2人)
50歳代	4人(+2人)	1人(+1人)	- (-2人)	- (-1人)	5人(±0人)
60歳代	3人(-1人)	- (-2人)	- (-3人)		3人(-6人)
70歳代	5人(+3人)	2人(-1人)	1人(-1人)		8人(+1人)
80歳代以上		1人(-1人)		- (-1人)	1人(-2人)

30歳代以下の登山者による山岳遭難が増加しています。
特に登山経験の少ない10歳代の登山者が軽装や装備不備等で安易に入山した結果、遭難してます。
40歳代以上の山岳遭難は減少している一方で、転倒・滑落による遭難者は増加しています。

山岳遭難に遭わないよう
【事前準備】
○山の情報収集
○装備品の準備
○登山計画の策定
【登山当日】
○登山届の提出
○適切な装備の携行
○早めの休憩と水分・塩分補給
を徹底しましょう。

また『体力に不安を感じたとき』や『天候が急変したとき』などは早めに引き返す勇気を持ちましょう。



大分県電子申請システム